



# 倫理委員会 ニュースレター

## 第21号 クリティカルケアでの高齢者の意思決定における倫理的課題

乾 早苗（倫理委員会）

日本の高齢化率は29.3%に達しており、それに伴い救急搬送患者に占める高齢者の割合は約63%と増加しています<sup>1)</sup>。高度医療を必要とする高齢者も年々増加しており、90歳を超える超高齢者がICUへ入室することも珍しくなくなっています<sup>2)</sup>。

このような状況のなか、クリティカルケア領域では、高齢者の意思決定をどのように支えるかが重要な倫理的課題となっています。認知機能低下による意思決定能力の低下や、家族構造の変化による代理意思決定者の不在などにより、患者本人の意向に沿った意思決定が困難となる場面が少なくありません。本ニュースレターでは、クリティカルケアにおける高齢者の意思決定をめぐる主な倫理的課題と、看護師に求められる役割について整理します。



福寿草「幸福」「長寿」

### 高齢者の意思決定をめぐる主な倫理的課題

#### ① 意思決定能力の変動

高齢者の急性期治療では、せん妄や認知症の影響により意思決定能力が低下または変動することが多くみられます<sup>3)</sup>。意思決定能力は固定されたものではなく、体調や環境、症状により変化するため、その時点のみで判断することには注意が必要です。

判断能力が低下していると見なされることで、患者の意思が十分に確認されないまま治療方針が決定されるケースも少なくなく、本人の自律が損なわれるリスクが指摘されています<sup>4)</sup>。

#### ② 時間的制約の大きさ

クリティカルケアでは、救命に直結する治療選択を短時間で判断する状況が避けられません。人工呼吸管理や循環補助、DNARの判断など、重大な意思決定が緊急に求められるため、患者や家族と十分に話し合う時間を確保することが困難です。その結果、患者の価値観や人生観が十分に共有されないまま、医療者主導または家族主導で意思決定が進められる危険性があります。

#### ③ 家族による代理意思決定

本人の意思決定が困難な場合には、家族による代理意思決定が行われます。単身高齢者は今後も増加していくことが予測されており、患者本人の意思を推察できる家族がいない、親族が見つからないなど、代理意思決定する家族の不在、患者の意向に沿った代理意思決定が難しい場合があります。

#### ④ Advance care planning (ACP) の不十分さ

入所施設から救急搬送された患者のうち、ACPが実施されていたのは約30%程度との報告もあり、事前にACPが十分に行われているとは言い難い現状があります。そのため、クリティカルケアの場で初めて人生の最終段階に関する意思決定を迫られる状況が生じています。

## 意思決定支援における看護師の役割

### ① 患者の意思決定を支援する

医療倫理においては、患者本人の自己決定を尊重すること（自律尊重原則）が基本です。患者が自ら意思決定できるよう支援するためには、心身の状態を踏まえたわかりやすい説明と、本人・家族・医療チームによる十分な話し合いが不可欠です<sup>5)</sup>。特に高齢者では、痛みや呼吸困難感、不安などが意思決定を妨げるため、症状緩和によって「考えられる状態」を整えることが意思決定支援の前提となります<sup>6)</sup>。

せん妄や認知症により意思決定が困難な場合でも、非言語的反応やこれまでの価値観を手がかりに、本人の視点に立った意思推定を行うことが重要です<sup>7)</sup>。

### ② 家族支援の充実

本人の意思が不明確なまま代理意思決定を求められた家族は、強い葛藤や後悔、罪悪感を抱きやすいことが報告されています。家族に対して、本人が意思決定することを家族として支援しているということを理解してもらうこと、本人の意思が不明確であっても、本人ならどのように意思決定するかを家族として考えてもらうことが大切だと考えます。

人の意思を中心に据えた意思決定支援は、家族への支援にも直結します。ACPを通じて本人の価値観や希望を事前に共有しておくことは、本人の尊厳を守るだけでなく、家族の心理的負担を軽減する重要な取り組みです。

## おわりに

クリティカルケアにおける高齢者の意思決定は、時間的制約、重症性、代理意思決定といった複数の困難を伴います。だからこそ、代理意思決定を前提とするのではなく、可能な限り本人の意思を尊重する姿勢が求められます。看護師は、患者・家族に最も身近な存在として、倫理的視点をもった意思決定支援を担う重要な役割を果たしています。

### 引用・参考文献

- 1) 総務省. 令和5年版 高齢社会白書.
- 2) 玉川太朗 (2024). 救命センター・ICUに入院した超高齢者に対する Advance Care Planning (ACP) の取得状況と臨床への影響. 新潟大学博士論文
- 3) 成木迅 (2020). 認知症高齢者の医療選択に関する意思決定支援と看護師の役割. 老年看護学. 25(1): 12-16.
- 4) 日本看護協会. 意思決定支援と倫理 (2) 高齢者の意思決定支援.
- 5) 鈴木みずえ. 高齢者施設における認知症高齢者の意思決定支援に関する実践ガイド
- 6) 日本緩和医療学会. 苦痛緩和のための鎮静に関するガイドライン.
- 7) 厚生労働省 (2024). 認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン (第2版)

(発行日: 2026年6月1日)